

## 平成 28 年度ジャパンリンクセンター運営計画

平成 28 年 6 月 2 日  
ジャパンリンクセンター事務局

### 1. 委員会、分科会、メンバーミーティングの主宰、招集、事務<sup>1)</sup>

#### (1) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を四半期に一回開催する<sup>2)</sup>。

#### (2) 分科会

分科会の設置は、委員長が委員会に諮って決定することとなっている<sup>3)</sup>。委員会の審議を円滑に進めるため、分科会は、下表に示す審議項目を検討し、結果を委員会に報告する。

表 1. 平成 28 年度の分科会構成

項番	分科会	審議項目
1	サービス企画分科会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ユーザ目線からの短期的なサービス企画</li><li>・ 共同運営機関をはじめとする他サービス（NDL サーチ、CiNii、J-GLOBAL など）とのメタデータ連携活用施策の検討</li></ul>
2	システム技術分科会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ IDF, Crossref, DataCite への議論に参加し、JaLC としての提案を行っていくためのフォローアップと支援</li><li>・ JaLC システム開発の要件検討</li></ul>
3	DOI コミュニケーション分科会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 対外的な広報活動の方針検討</li><li>・ 「研究データ利活用協議会」の支援</li><li>・ JaLC 各種説明ドキュメントの修正検討</li></ul>

<sup>1)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項4号

<sup>2)</sup> 審議する項目は、運営規則第3条2項各号の定めに従い次のとおりである。(1) JaLC の運営方針に関する事項、(2) JaLC が本件サービスのために設置するシステムの技術的事項、(3) 会員の入会審査にかかる事項、(4) その他、JaLC の運営にあたり必要な事項

<sup>3)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第5条2項

### (3) メンバーミーティング

ジャパンリンクセンターが会員募集を開始し、DOI (JaLC DOI) の登録を開始してから、2016年2月に4年目を迎えた。その間、正会員は27機関、準会員は1,000機関以上まで規模を拡大した。

メンバーミーティングを開催する。ミーティングでは、DOIに関する最新的话题を提供したり、JaLCの現状を報告したりする他、参加者との意見交換を行う。これにより、JaLCへの参加意欲を高めてもらうとともに、要望やニーズを把握し、JaLCサービスの将来像検討の一助とする。

開催時期は9月頃を予定しており、後述の「入会説明会」と併せて開催する予定である。

## 2. サービスの開発、運用および管理<sup>4)</sup>

### (1) サービスの開発

次の開発を検討する。

表 2. 平成 28 年度の新規開発項目

項番	開発検討項目	内容
1	リンク付与機能の改善に向けた効果検証	データクレンジング JaLCが保有するメタデータの品質を高めることにより、効果的に外部連携を行えるようにする。
2		フィージビリティスタディ 外部連携先から取り込んだメタデータの活用に係る効果の検証を行う。
3	研究者情報サービスとの連携	JaLCが蓄積した論文や研究データのDOIを、研究者情報とつなげるしくみを検討する。
4	機能拡張の検討	一般のユーザがJaLCのメタデータを検索できる機能を開発するための検討を行う。 また、会員がオンラインで統計分析ができる機能を開発するための検討を行う。

<sup>4)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項2号

## (2) 運用

システム運用、ユーザサポート業務は、過年度に引き続き外部に委託して実施する。また、システムの安定稼働を目指し、2014年12月にリリースした新システムの最適化を図るとともに、データ移行作業の再確認やデータクレンジングを行い外部連携するためのデータ品質の向上を図る。

## 3. DOI 登録機関連業務<sup>5)</sup>

### (1) 正会員

過年度に引き続き、正会員の入会対応を行う。具体的には、入会手続き説明、入会審査事務、DOI prefix の払い出し、システムの初期設定、データ初期登録方法の指導などである。

### (2) 準会員

正会員を通じて、準会員に対する DOI prefix の払い出しに係る事務を行う。また、準会員を持つ正会員と協働して、準会員数増加も強化する。

### (3) 入会説明会の開催

これまで、正会員の入会希望の申し出を受けて、個別に入会説明やデータ登録デモを行ってきた。平成28年度からは、四半期に一回程度の割合で入会説明会「DOI お役立ちセミナー（仮称）」を開催し、入会対応業務の効率化を図る。説明会の終了後には、個別相談会も設ける。

## 4. その他、JaLC の運営に関する一切の事務<sup>6)</sup>

### (1) 長期ビジョン、中期計画の策定

ジャパンリンクセンター運営委員会において、平成28年度中に「JaLC 長期ビジョン2022」および、長期ビジョンの実現に向けた道筋である「JaLC 中期計画2019」を策定する。

### (2) 「研究データへの DOI 登録実験プロジェクト」に後続する場の発足

2014年10月から2015年9月までの一年間実施してきた「研究データへの DOI 登録実験プロジェクト」をつうじて、他では代えがたいコミュニティが醸成された。このコミュニティにおいて、さらにオープンデータに係る議論を加速させるべく、当プロジェクトに後続する場を発足させる。

場の発足に係る事務手続きとして、必要に応じて、ジャパンリンクセンター運営規則の改正および構成機関の決定を行う。

<sup>5)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項1号

<sup>6)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項5号

(3) 「eラーニングへの DOI 登録実験プロジェクト」の発足

「研究データへの DOI 登録実験プロジェクト」の成功を受けて、eラーニングについても同様の検討を行う。

(4) 国際機関との関わり

DOI 登録機関として IDF の活動に、会員として Crossref, DataCite, ORCID の活動に深く関わっていくことにより、情報収集や連携強化を図る。また、アジアの DOI 登録機関 (RA) との連携施策も模索する。

— 以 上 —